

# 令和4年度から下高井農林高等学校での学習が変わります!!

令和4年度から「地域創造農学科」に学科改編します。2年次から個々の興味関心に応じ「産業創造コース」「環境創造コース」のいずれかを専攻することにより、今まで以上に専門学習の深化を図り、地域連携やSDGsの目標達成に向けた学びを充実させ、進路実現を一層支援できるようなカリキュラムを編成しました。

## 1 地域創造農学科の教育目標

農林業及び環境への理解、農作物の栽培管理や地域文化の継承を基礎に、地域の方々と協働して北信州の豊かな資源を最大限に活用した探究的な学びを展開し、地域に活力を与え、北信州の産業振興と持続的発展を支えるリーダーの育成を目標とする。

## 2 2年次から始まるコース学習

コース名	コースの学習内容及び目標
産業創造コース	農産物の生産からマーケティング・流通・販売に至るまでの経営と管理を総合的に学習し、6次産業化（原料生産・加工品製造・商品販売）を実践するための知識と技術を習得する。持続的・効果的に地域資源を活用できる経営感覚を身に付け、地域産業の発展と活性化に貢献できる人材を育成する。
環境創造コース	地域に暮らす人々との交流を通じ、持続可能な地域社会を目指し、身近な地域資源を活用した環境デザイン・森林の活用と保全・資源循環・地域防災・地域文化の継承等を実践できる知識と技術を習得する。地域の課題解決に積極的に参画し、地域振興に貢献する感覚を身に付け、地域環境を創造できる人材を育成する。

## 3 教育目標を実現するための教育課程

令和4年度入学生用

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ					生物基礎			体育	保健	音楽/美術		英語コミュニケーションⅠ	家庭総合	北信州学			農業と環境							農業と情報		LHR	
2年																															
産業創造コース	言語文化	国語研究	公共	数学A				化学基礎		体育	保健			教養英語	家庭総合	カルチベーション	総合実習	食品製造			地域資源活用							マーケティング		LHR	
環境創造コース	言語文化	国語研究	公共	数学A				化学基礎		体育	保健			教養英語	家庭総合	カルチベーション	総合実習	森林科学			地域資源活用							マーケティング		LHR	
3年																															
産業創造コース	国語研究	歴史総合	地学基礎					体育		選択(群ごとに1科目選択) A群:数学Ⅱ/地域の歴史/情報技術/フードデザイン/農業機械 B群:数学Ⅱ/数学Ⅱ/国語展開/社会福祉基礎/コミュニケーションスポーツ C群:国語展開/教養数学/化学活用/実用英語/農業機械 D群:政治・経済/生物/実用英語/保育基礎/食品化学								課題研究			地域資源活用			総合実習	食文化		LHR				
環境創造コース	国語研究	歴史総合	地学基礎					体育		選択(群ごとに1科目選択) A群:数学Ⅱ/地域の歴史/情報技術/フードデザイン/農業機械 B群:数学Ⅱ/数学Ⅱ/国語展開/社会福祉基礎/コミュニケーションスポーツ C群:国語展開/教養数学/化学活用/実用英語/農業機械 D群:政治・経済/生物/実用英語/保育基礎/食品化学								課題研究			地域資源活用			総合実習	スマート林業		LHR				

## 4 学びの特徴

### (1) キャリア教育と6次産業化に向けた地域連携による学びの実践

キャリア教育と6次産業化に関する主体的な学びを確立するため、各年次における中心となる科目を設定し、地域の方々と協働した地域探究を展開する中で、経営感覚を身に付け、地域産業の発展と活性化、地域環境の創造に寄与する力の習得を図る。

- ・1年次は、学校設定科目「北信州学」において、地域の環境・文化・産業に関するキャリア等の探究に取り組み、地域の魅力と自分を知る。
- ・2年次は、コースでの専門的な知識・技能の習得とインターンシップ等により、地域の課題を見つける。また、商業科目の「マーケティング」により、6次産業化に向けた実践的な知識を習得する。
- ・3年次は、専門科目の「課題研究」等において、デュアルシステムによる農家及び関連企業での現場実習や高校生版「道の駅」での販売実習等に取り組み、ローカルブランドの確立と情報発信、伝統産業や文化の継承、及び地域の活性化に向けた多面的な職業能力を養う。



道の駅での販売実習



商品開発（野沢菜おやきパン）

### (2) 生涯学習の拠点としてのコミュニティ『農林』の確立

地域社会を担う深い郷土愛を持った人を育てるため、「地域連携推進連絡会」の支援・協力のもと、以下のような地域を学びのフィールドとした交流活動を通して、生徒の人間関係力の育成を図るとともに、生涯学習の拠点として、持続可能な地域社会を担うネットワークの構築に寄与する。

- ・栽培、加工、ものづくり等に関する学校開放講座の主体的な運営により、地域の魅力を再発見し、人間力、表現力、プレゼン力の向上を図る。
- ・異年齢の方々との交流活動、産学官連携による「道の駅」等での各種イベントの企画・運営、行政や地元中学校と連携した地域活性化プロジェクト等の実践により、地域交流を推進する上での社会的信頼を高める手法を習得する。



保育園との交流活動

### (3) スマート農林業の実践

熟練農業者の持つ経験や勘に頼ることなく、科学的根拠に基づいた後継者の育成を図るため、ドローンや環境制御施設等を活用し、「省力化や高品質生産の実現」「誰もが取り組める農林業の実現」「消費者・実需者への安心と信頼の提供」等を可能にするスマート農林業を積極的に学び、農林業の技術革新や活性化に貢献できる力を養う。



ドローン講習会

### (4) 多様な資格取得・SDGsの目標達成に向けた教育の実践

即戦力として地域に必要とされる多様な資格取得、豊かな地域社会を創造するためにSDGsの目標達成を目指した教育の推進、農林業分野における汎用的・多面的な学びの深化を図り、生徒の進路実現を図る。



フォークリフト資格取得



水田自動給水器による  
スマート水管理